

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2017年8月3日（木）9：30～12：40（3時間10分）

■会場

上郡町社会福祉協議会 研修室

■参加者

21名（子ども6名、高校生4人、保護者4名、民生児童委員1名、社会福祉協議会職員1名、青年リーダー5名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えるとともにボランティアとして何ができるかを考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：30	あいさつ 上郡町社会福祉協議会事務局 横田多栄
9：40	オリエンテーション
9：50	お話し「災害は忘れたころにやってくる」
10：10	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：40	あいさつ 上郡町社会福祉協議会事務局

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 上郡町民生児童委員 大上節弘  
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 5名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まとめ



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・近所の人と助け合いの心をもつ
- ・ふだんから地域の人への声かけをする気持ちを持つ
- ・油断をしてはいけない
- ・自分のまちをよく知っておく
- ・水、非常食などの備蓄
- ・雨のあとは川の近くには近づかない